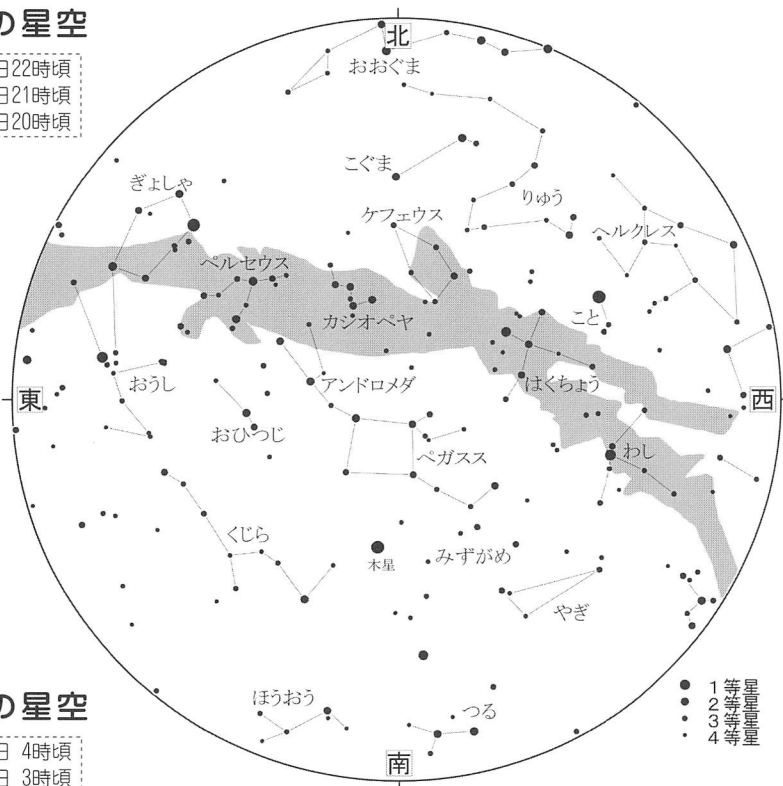




★星空ガイド 10月16日～11月15日

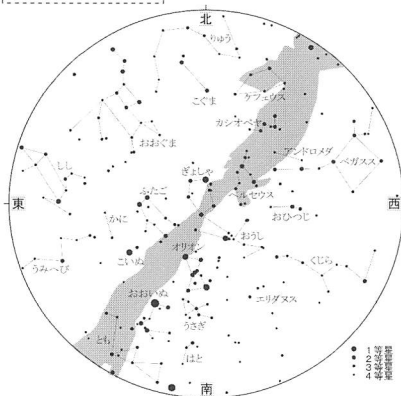
よいの星空

10月16日22時頃
11月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

10月16日 4時頃
11月1日 3時頃
15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
10	16	土	6:03	17:22	13:42	—:—	8.3
	21	木	6:08	17:16	16:00	4:13	13.3
	26	火	6:12	17:11	19:09	9:07	18.3
11	1	月	6:17	17:04	0:26	13:39	24.3
	6	土	6:22	17:00	6:14	16:42	29.3
	11	木	6:27	16:56	11:03	21:23	4.9
	15	月	6:31	16:53	13:08	0:15	8.9

※惑星は2010年11月1日の位置です。

<オリオン座流星群>

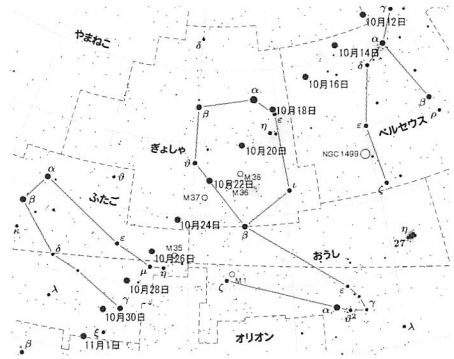
10月21日～22日未明にかけて、オリオン座流星群が極大を迎えます。オリオン座流星群はハレー彗星を母天体とする流星群で、ハレー彗星がまき散らしたチリの中へ地球が入るために流れ星が見られるものです。この流星群は通常1時間当たり10個程度の流れ星が見られるという、中程度の流星群なのですが、2006年には突発的な活動が観測され、1時間に100個ほどの流れ星が見られました。それ以来毎年活発な出現が観測されていますが、この状況も今年で終わり、今後はまた以前のような出現状況に戻ると予想されています。ただし残念ながら今年は23日が満月ということで、観測条件は大変悪くなっています。

<103P/ハートレイ第2周期彗星>

103P/ハートレイ第2周期彗星は1985年に発見された彗星で、周期6.5年で太陽の周りを回っています。これまでの回帰では肉眼で見ることができませんでしたが、今回は地球にかなり接近するため4等級の明るさになり、肉眼でも見えると期待されています。

ただし、彗星の光は非常に淡いため、大阪の街中では慣れた人が双眼鏡を使って見ても、コマの部分が何とか見える程度ではないかと思われます。街明かりのない場所に行って観察してみましょう。

またプラネタリウムでは現在、「氷の星・彗星」という番組の投影を行っておりますので、こちらもぜひご覧ください。



10月の103P/ハートレイ第2彗星
(22時の位置)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
10	16	土	水星が外合
	20	水	後の月/土用の入/月と木星がならぶ
	22	金	オリオン座流星群が極大のころ
	23	土	○満月(11時)/霜降
	28	木	103P/ハートレイ第2周期彗星 近日点通過/金星が内合

月	日	曜	主な天文現象など
10	30	土	●下弦(22時)
11	5	金	月と金星がならぶ(南アフリカなどで金星食)
	6	土	●新月(14時)
	7	日	立冬
	14	日	●上弦(2時)

江越 航(科学館学芸員)